

米に関するマンスリーレポート

新潟県版 令和元年11月

《今月の特集1》

令和2年産の米政策検討会議（第1回）の概要について

令和2年産の新潟米基本戦略等について、県全体での方向性を共有するため、10月31日(木)に、市町村や県団体、JA、農業者団体の代表を委員とする「令和2年産の米政策検討会議（第1回）」を開催しました。

1 検討内容

- (1) 令和元年産の生産実績
- (2) 令和元年産における県農業再生協議会等の取組
- (3) 令和元年産における地域農業再生協議会等の取組
- (4) 令和2年産に向けた課題と対応方向

2 主な意見

検討会議でいただいた主な意見は次のとおり。

- ☑ 需要に応じた生産に向け、
方針作成者が農業者へ的確な情報を伝えるなど、役割を発揮
することが必要。
- ☑ 主食・非主食ともに需要に応じた生産を進めるため、
地域の方針作成者間の情報交換等が必要。
- ☑ 農業者に対し需給動向や生産誘導の情報を、
タイムリーに提供することが重要。
- ☑ 確実な需要を確保するため、
事前契約や複数年契約の取組を拡大していくことが必要。

いただいた意見等を踏まえ、11月下旬に第2回米政策検討会議を開催し、令和2年産米の適正生産に向けた方向性を共有してまいります。

新潟県版マンスリーレポートは、「新潟米」情報センターでご覧いただけるほか、新潟県ホームページでもご覧いただけるようになりました。

新潟県ホームページ

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/nosanengei/mansuri-repo-to.html>

「新潟米」情報センター

<http://www.niigatamai.info/public/list/p/aratana/c/25/>

《今月の特集 2》

令和 2 年産米の作付動向等に関する調査結果 (D I)

調査概要

- 調査方法：郵送・電子メールにより調査票を送付し、回収
- 調査期間：令和元年 10 月 8 日（火）～10 月 18 日（金）
- 回答状況：165 者に送付し、53 者が回答（回答率 32%）

概況

1 令和 2 年産米の作付意向

(1) 主食用米

コシヒカリは元年産並み、つきあかり・こしいぶき・その他うるちは増加傾向、ゆきん子舞・あきだわらは減少傾向となっています。

(2) 非主食用米

加工用米・飼料用米は減少傾向、米粉用米・新市場開拓用米・備蓄米は増加傾向となっています。

2 令和元年産米の集荷・販売状況

令和元年産のコシヒカリの集荷状況は前年に比べ順調である一方、販売状況は前年並みとなっています。

令和 2 年産米の生産に向けて

令和元年産の作付状況を見ると、主食用米は前年比で 2,100ha 増加する一方、加工用米等の非主食用米は大幅に減少し、これを求める県内実需者の需要に十分に答えきれていない状況も見られました。

認定方針作成者におかれては、今後の販売動向を注視の上、**主食用米については事前契約により確実な需要を積み上げる**とともに、**非主食用米については需要の見込まれる加工用米等への生産誘導を推進する**など、新潟米のブランド力強化や価格の安定化に取り組ましましょう。

調査結果

1 令和2年産米の作付意向

(1) 主食用米

	品種	作付動向 (DI)
主食用	コシヒカリ	50.5
	こしいぶき	51.2
	ゆきん子舞	47.7
	あきだわら	47.7
	つきあかり	51.8
	その他うるち	55.8
	もち米	54.1
	酒米	47.2

(2) 非主食用米

	品種	作付動向 (DI)
非主食用	加工用米	46.4
	米粉用米	51.2
	新市場開拓用米	52.1
	飼料用米	41.7
	備蓄米	53.1

2 令和元年産米の集荷・販売状況

品種	集荷状況 (DI)	販売状況 (DI)
コシヒカリ	61.7	51.1
こしいぶき	57.0	51.2
ゆきん子舞	54.5	53.1
あきだわら	56.8	50.0
つきあかり	63.8	56.3
その他うるち	55.6	50.9
もち米	44.7	50.7
酒造用米	55.8	54.2

新潟県版マンスリーレポートは、「新潟米」情報センターでご覧いただけるほか、新潟県ホームページでもご覧いただけるようになりました。

新潟県ホームページ

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/nosanengei/mansuri-repo-to.html>

「新潟米」情報センター

<http://www.niigatamai.info/public/list/p/aratana/c/25/>



新潟米の販売状況

概況

元年産の新潟米は、集荷が前年に比べ増加しているものの、販売は集荷の増加量に比べ緩やかな状況。また、作付や作柄の影響等により民間在庫はやや増加している。

販売比率

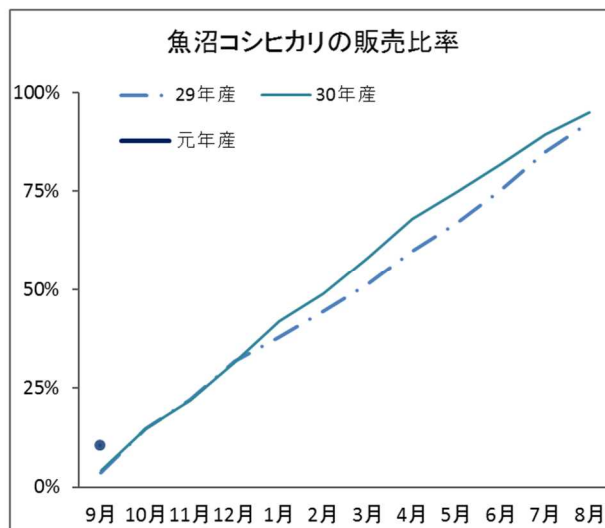
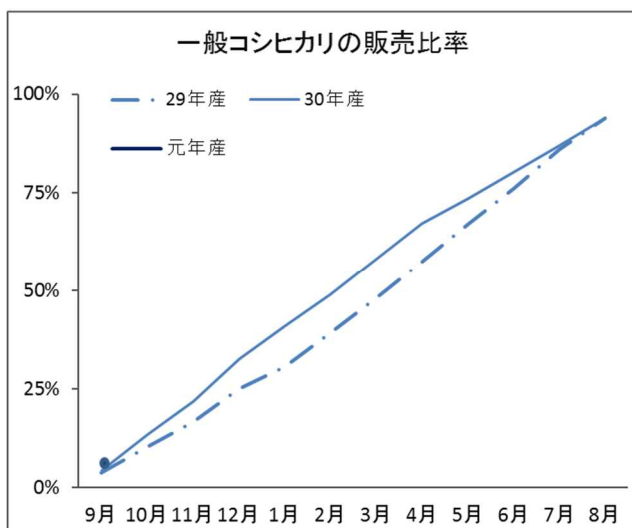
集荷量の増加に対して、販売は緩やかな傾向。

(1) 一般コシヒカリ

元年産は作柄が回復したことで、集荷量は前年比122%の81.7千トンになったのに対し、販売量は前年比104%の5.5万トンに留まった。

(2) 魚沼コシヒカリ

元年産は作柄が回復したことで、集荷量は前年比131%の15.1千トンになったのに対し、販売量は前年比121%の1.5千トンに留まった。



販売比率の推移

産地・年産		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	29年産	4%	10%	17%	25%	31%	39%	48%	57%	67%	76%	86%	94%
	30年産	4%	13%	22%	33%	41%	49%	58%	67%	73%	80%	87%	94%
	元年産	7%											
魚沼コシヒカリ	29年産	4%	15%	22%	32%	38%	44%	51%	60%	67%	75%	85%	93%
	30年産	4%	15%	22%	31%	42%	49%	58%	68%	75%	82%	89%	95%
	元年産	10%											
岩船コシヒカリ	29年産	2%	13%	21%	28%	35%	43%	53%	62%	71%	78%	86%	95%
	30年産	1%	14%	23%	31%	36%	45%	54%	67%	74%	80%	89%	98%
	元年産	5%											
佐渡コシヒカリ	29年産	3%	14%	21%	29%	38%	44%	52%	60%	69%	76%	86%	96%
	30年産	2%	18%	27%	36%	46%	52%	60%	67%	76%	81%	88%	94%
	元年産	7%											

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)平成29年産は、各月末時点の販売数量を翌年8月末の集荷量で除して算出。

30年産12月以前は国による比率算出が公表されなかったため、直近月の集荷量で除して算出。

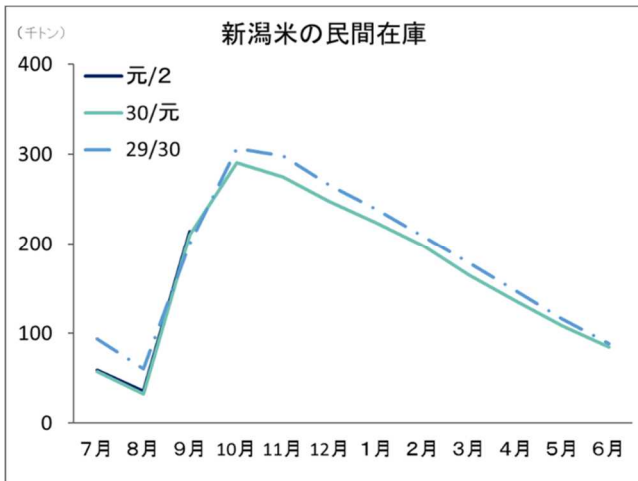
元年産は各月末時点の販売数量を直近月の集荷量で除して算出しているため、今後集荷量の増加に伴い比率が変動する可能性がある。



在庫状況

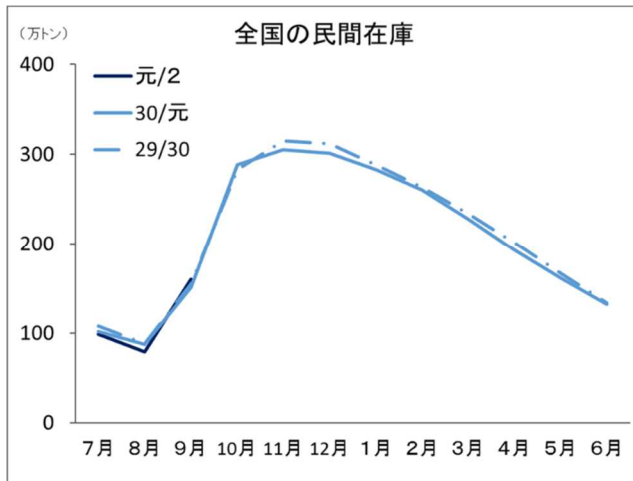
(1)新潟米

9月の新潟米の民間在庫(うるち米)は、前年比1.9%増の214千トンとなり、前年を3か月連続で上回った。



(2)全国

9月の全国の民間在庫(うるち米)は、前年比6.0%増の160万トンとなり、11か月振りに前年を上回った。



民間在庫の推移(うるち米)

(単位:新潟米は玄米千トン、全国は玄米万トン)

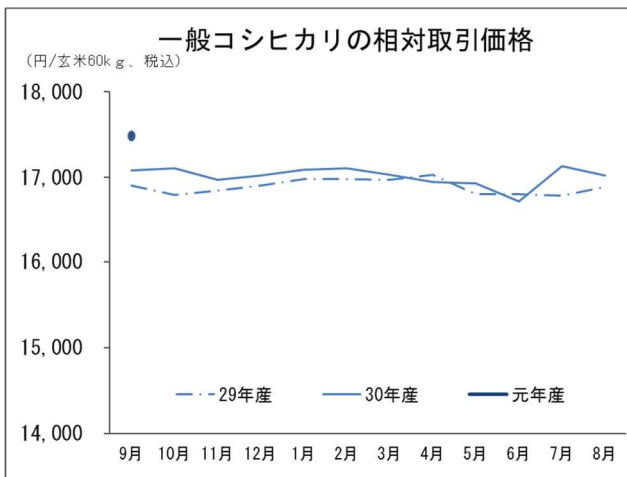
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟米	29/30	94	61	200	307	298	266	239	209	179	147	116	88
	29年産米	0	0	160	269	265	239	218	192	164	136	107	82
	1年古米(28年産)	89	59	39	38	32	26	21	16	15	11	9	6
	30/元	58	32	210	290	275	248	224	198	165	136	108	85
	30年産米	0	1	194	276	264	241	219	194	163	134	107	84
	1年古米(29年産)	53	29	15	13	9	6	4	3	2	1	1	1
元/2	元/2	59	35	214									
	元年産米	0	1	194									
	1年古米(30年産)	58	34	20									
全国	29/30	108	88	155	283	315	312	288	263	234	201	167	134
	29年産米	1	15	104	241	282	288	270	249	223	192	160	129
	1年古米(28年産)	103	71	48	38	29	21	14	11	8	6	5	4
	30/元	102	87	151	288	305	301	283	260	228	193	162	132
	30年産米	1	18	103	248	273	277	263	244	216	184	155	126
	1年古米(29年産)	97	66	45	37	28	20	16	12	9	7	5	4
元/2	元/2	99	79	160									
	元年産米	1	13	115									
	1年古米(30年産)	95	66	43									

資料：農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

相対取引価格

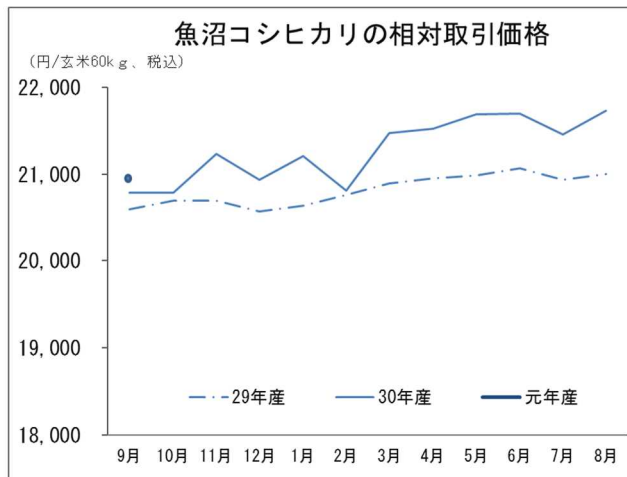
(1) 一般コシヒカリ

9月の元年産一般コシヒカリの相対取引価格は、前年比2.3%上昇し、17,471円(玄米60kg、税込)となり、3か月連続で上回った。



(2) 魚沼コシヒカリ

9月の元年産魚沼コシヒカリの相対取引価格は、前年比0.6%上昇し、20,919円(玄米60kg、税込)となり、14か月連続で上回った。



相対取引価格の推移

(単位:円)

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	29年産	16,906	16,798	16,846	16,907	16,982	16,980	16,974	17,030	16,801	16,801	16,784	16,890
	30年産	17,081	17,106	16,975	17,021	17,090	17,109	17,027	16,944	16,929	16,718	17,130	17,020
	元年産	17,471											
魚沼コシヒカリ	29年産	20,600	20,703	20,700	20,578	20,640	20,767	20,902	20,956	20,987	21,072	20,945	21,010
	30年産	20,791	20,794	21,241	20,939	21,210	20,819	21,482	21,528	21,695	21,699	21,458	21,735
	元年産	20,919											
岩船コシヒカリ	29年産	17,289	17,429	17,479	17,339	17,452	17,352	17,455	-	-	-	-	-
	30年産	17,442	17,474	17,478	17,454	17,493	17,423	17,445	-	-	-	18,337	-
	元年産	17,811											
佐渡コシヒカリ	29年産	17,311	17,325	17,415	17,340	17,362	17,486	17,484	17,665	-	-	-	17,362
	30年産	17,487	17,830	17,476	17,493	17,420	17,349	17,458	-	17,510	-	17,743	-
	元年産	17,834											

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

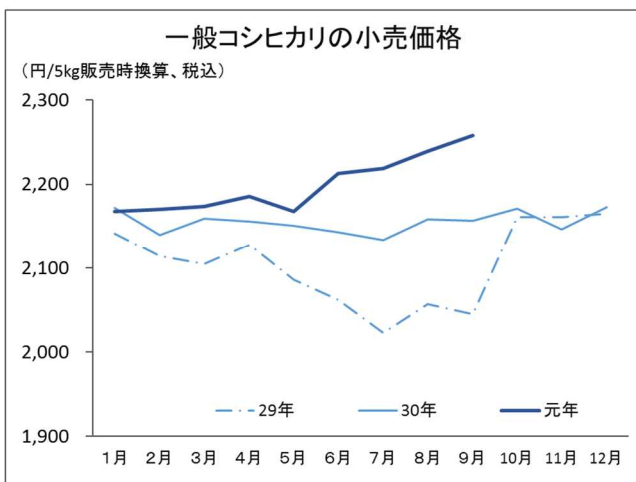
(注)「-」は、当該月の相対取引契約がなかったもの、または、当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表が行われないもの。



小売価格
(POSデータ)

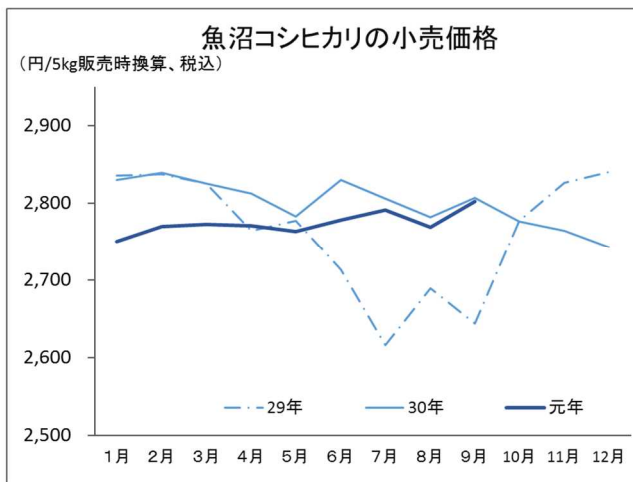
(1) 一般コシヒカリ

9月の一般コシヒカリの小売価格は、前年比で4.7%上昇し、2,258円(5kg袋販売時換算、税込)となり、8か月連続前年を上回り、上昇傾向が続いている。



(2) 魚沼コシヒカリ

9月の魚沼コシヒカリの小売価格は、前年比で0.2%下落し、2,802円(5kg袋販売時換算、税込)となり、12か月連続で前年を下回っている。



小売価格(POSデータ)の推移

(単位:円)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
一般コシヒカリ	29年	2,141	2,114	2,105	2,128	2,086	2,062	2,023	2,057	2,045	2,161	2,161	2,165
	30年	2,172	2,140	2,159	2,156	2,151	2,143	2,134	2,158	2,157	2,171	2,146	2,173
	元年	2,168	2,170	2,174	2,186	2,168	2,213	2,219	2,239	2,258			
魚沼コシヒカリ	29年	2,835	2,837	2,825	2,764	2,777	2,713	2,616	2,689	2,644	2,777	2,826	2,840
	30年	2,830	2,839	2,825	2,812	2,783	2,830	2,806	2,782	2,807	2,776	2,764	2,743
	元年	2,750	2,770	2,772	2,771	2,763	2,778	2,791	2,769	2,802			
岩船コシヒカリ	29年	2,114	2,024	2,031	2,123	2,210	2,230	2,188	2,163	2,181	2,158	2,200	2,224
	30年	2,270	2,292	2,275	2,221	2,264	2,279	2,275	2,254	2,229	2,231	2,254	2,224
	元年	2,244	2,298	2,235	2,276	2,254	2,233	2,199	2,231	2,265			
佐渡コシヒカリ	29年	2,121	2,158	2,149	1,983	2,151	2,015	2,141	2,127	2,169	2,174	2,259	2,266
	30年	2,282	2,110	2,243	2,282	2,280	2,260	2,246	2,245	2,231	2,209	2,215	2,246
	元年	2,262	2,289	2,309	2,305	2,308	2,306	2,295	2,280	2,298			

資料: 農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

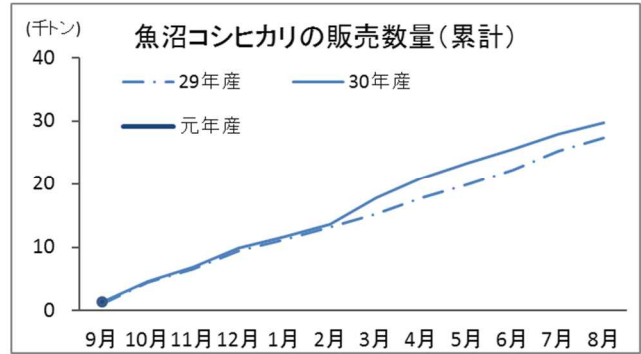
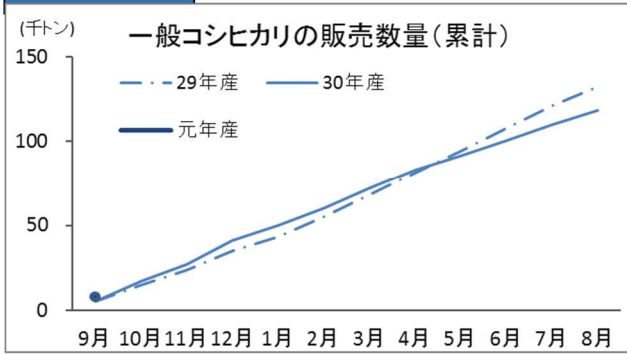
発行元: 新潟県農林水産部農産園芸課

TEL: 025-280-5295

URL: <https://www.niigatamai.info>

資料編

販売状況



販売数量(累計)の推移

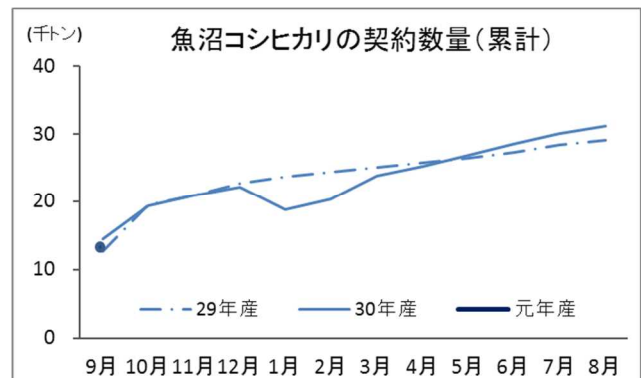
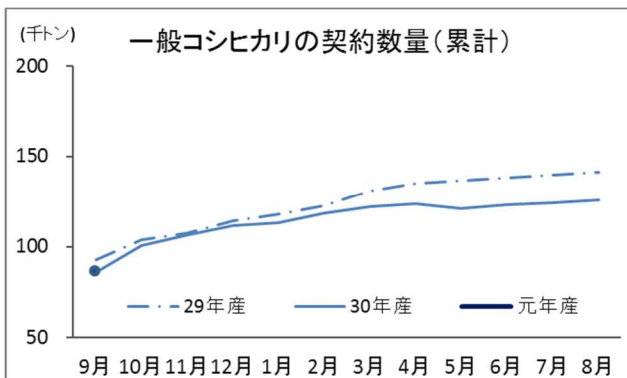
(玄米千トン)

産地・年産	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
一般コシヒカリ	29年産	5.1	14.6	23.5	35.2	43.3	55.3	68.1	81.2	94.6	107.6	121.4	132.6
	30年産	5.3	16.9	27.2	40.9	50.0	59.9	71.7	83.3	91.8	100.3	110.1	118.2
	元年産	5.5											
魚沼コシヒカリ	29年産	1.1	4.4	6.5	9.4	11.2	13.1	15.2	17.7	19.8	22.3	25.2	27.4
	30年産	1.3	4.6	6.8	9.8	11.7	13.6	17.8	20.9	23.3	25.6	27.9	29.7
	元年産	1.5											
岩船コシヒカリ	29年産	0.2	1.4	2.4	3.1	3.9	4.8	5.9	6.9	7.9	8.7	9.6	10.6
	30年産	0.1	1.5	2.4	3.2	3.7	4.7	5.6	6.9	7.7	8.4	9.5	10.2
	元年産	0.2											
佐渡コシヒカリ	29年産	0.4	1.9	2.9	4.0	5.1	6.0	7.1	8.1	9.4	10.3	11.7	13.0
	30年産	0.2	2.2	3.2	4.3	5.5	6.3	7.2	8.1	9.0	9.7	10.5	11.1
	元年産	0.4											

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

契約状況



契約数量(累計)の推移

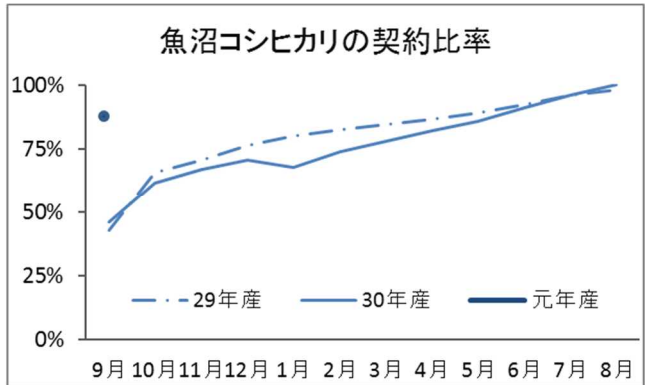
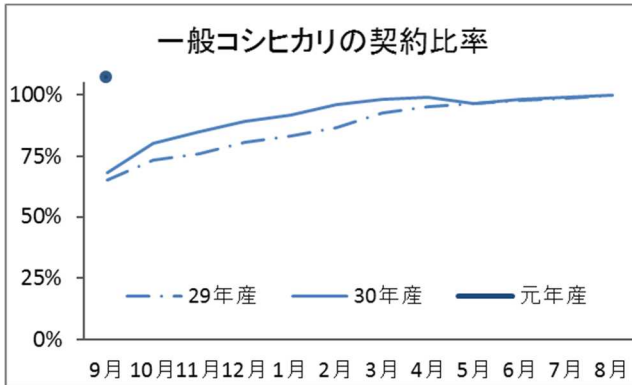
(玄米千トン)

産地・年産	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
一般コシヒカリ	29年産	92.5	103.8	107.3	114.2	117.9	122.6	130.7	134.8	136.4	138.0	139.7	141.1
	30年産	85.7	100.5	106.4	111.5	112.9	118.2	122.0	123.3	120.9	122.8	124.1	125.5
	元年産	87.7											
魚沼コシヒカリ	29年産	12.7	19.5	20.9	22.6	23.7	24.4	25.1	25.7	26.4	27.3	28.4	29.1
	30年産	14.4	19.3	20.9	22.1	18.8	20.3	23.8	25.2	26.8	28.5	30	31.1
	元年産	13.0											
岩船コシヒカリ	29年産	10.1	10.1	10.1	10.3	10.4	10.7	11.2	11.2	11.2	11.2	11.2	11.2
	30年産	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.2	10.4	10.4	10.4	10.4	10.6
	元年産	9.4											
佐渡コシヒカリ	29年産	11.9	12.0	12.1	12.2	12.4	12.9	13.2	13.5	13.5	13.5	13.5	13.6
	30年産	11.2	11.4	11.4	11.7	11.7	11.8	12.1	11.4	11.7	11.7	11.7	11.8
	元年産	10.9											

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

契約比率



契約比率の推移

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	29年産	65%	73%	76%	81%	83%	87%	92%	95%	96%	98%	99%	100%
	30年産	68%	80%	85%	89%	92%	96%	98%	99%	97%	98%	99%	100%
	元年産	107%											
魚沼 コシヒカリ	29年産	43%	66%	71%	76%	80%	82%	85%	87%	89%	92%	96%	98%
	30年産	46%	62%	67%	71%	68%	74%	78%	82%	86%	91%	96%	100%
	元年産	86%											
岩船 コシヒカリ	29年産	90%	91%	90%	92%	93%	96%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	30年産	107%	107%	107%	107%	107%	107%	107%	101%	100%	100%	99%	102%
	元年産	254%											
佐渡 コシヒカリ	29年産	88%	88%	89%	90%	91%	95%	97%	99%	99%	99%	99%	100%
	30年産	94%	96%	96%	98%	98%	99%	101%	95%	98%	98%	98%	99%
	元年産	198%											

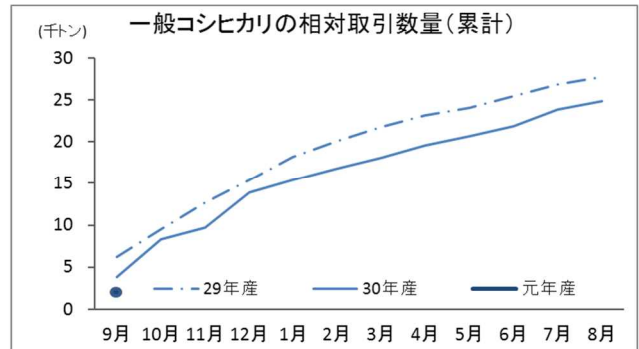
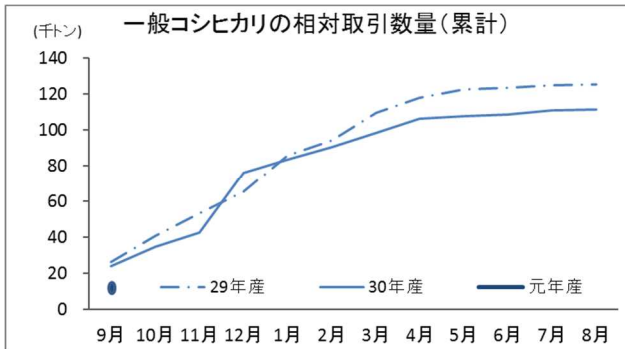
(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)平成29年産は、各月末時点の販売数量を翌年8月末の集荷量で除して算出。

30年産12月以前は国による比率算出が公表されなかったため、直近月の集荷量で除して算出。

元年産は各月末時点の販売数量を直近月の集荷量で除して算出しているため、今後集荷量の増加に伴い比率が変動する可能性がある。

相対取引数量



相対取引数量(累計)の推移

(玄米トン)

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	29年産	26,315	40,574	53,260	65,185	85,828	94,165	109,598	118,046	122,441	123,694	124,707	125,309
	30年産	24,056	34,805	42,333	76,176	83,475	90,377	98,290	106,259	107,846	108,637	110,769	111,440
	元年産	13,585											
魚沼 コシヒカリ	29年産	6,213	9,516	12,708	15,378	18,212	20,077	21,785	23,177	24,067	25,454	26,820	27,785
	30年産	3,859	8,262	9,672	13,887	15,353	16,786	18,050	19,543	20,650	21,836	23,879	24,848
	元年産	2,485											
岩船 コシヒカリ	29年産	5,843	6,192	6,777	8,030	8,604	9,935	11,225	11,225	11,225	11,225	11,225	11,225
	30年産	4,244	5,391	5,932	8,509	8,762	9,678	10,833	10,833	10,833	10,833	10,833	10,833
	元年産	2,285											
佐渡 コシヒカリ	29年産	3,789	5,401	6,211	6,948	10,956	11,973	12,945	13,236	13,236	13,236	13,236	13,370
	30年産	3,682	4,782	5,809	8,111	8,749	9,391	10,549	10,549	10,549	10,549	10,549	10,549
	元年産	2,224											

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注1)年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

(注2)相対取引契約がなかった又は相対取引量が100トン未満であり、価格の公表が行われなかった月については、前月と同じ数量を記載した。